製品安全データシート

製品名：ワイドアタック™ SC（Penoxsulam 37.5 SC）　作成日2011年9月29日（GHS版）

1.化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：　ペノキススラム水和剤

会社名：　ダウ・ケミカル日本株式会社　ダウ・アグロサイエンス事業部門

住　所：　東京都品川区東品川2丁目2番24号天王洲セントラルタワー

電話番号：　03－5460－6566　FAX番号：　03－5460－6291

メールアドレス：　dasjapan@dow.com

緊急連絡先：　0120－001017

中毒に関する緊急問合せ先　：　大阪中毒110番　072－727－2499

つくば中毒110番　029－852－9999

推奨用途：　農薬（除草剤）

2.危険有害性の要約

GHS 分類

人に対する健康有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
	皮膚感作性	区分外
	特定標的臓器（全身毒性）（反復ばく露）	区分外
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分 2
	水生環境慢性有害性	区分 2

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：　警告

危険有害性情報：　眼刺激

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

注意書き：　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

適切な保護眼鏡、保護衣を着用する。

適切な個人用保護具を着用する。

粉じんを吸入しない。

取扱い後はよく手を洗う。

環境への放出を避ける。

【応急措置】

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗眼すること。コンタクトレンズは、1-2 分洗眼した後に外し、さらに洗眼を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

接触した部位を大量の水でよく洗う。

吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動する。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。

暴露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受ける。

【保管】

容器を密閉して乾燥した場所で保管する。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：　混合物

化学名（一般名）：　3-(2,2-ジフルオロエトキシ)-*N*-(5,8-ジメトキシ[1,2,4]トリアゾロ[1,5-*c*]ピリミジン-2-イル)-α,α,α-トリフルオロトルエン-2-スルホンアミド（ペノキススラム）

成　分	含有量（%）	化学式	官報公示整理番号（安衛法）	CAS No.
ペノキススラム	3.6	$C_{16}H_{14}F_5N_5O_5S$	―	219714-96-2
界面活性剤、水等	96.4	―		

4.応急処置

吸入した場合：　被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、医師の診断を受ける。

眼に入った場合：　水で数分間注意深く洗眼すること。コンタクトレンズは、1-2 分洗眼した後に外し、さらに洗眼を続ける。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：　接触した部位を大量の水でよく洗う。
飲み込んだ場合：　緊急の医療処置は必要としない。
予想される急性症状及び遅発性症状：情報なし
最も重要な兆候及び症状：情報なし
医師に対する特別注意事項：情報なし

5.火災時の処置

消火剤：　水噴霧、泡消化剤、炭酸ガス
特有の危険有害性：　激しく加熱すると燃焼する。
火災時に刺激性及び有害のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法：　危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば着火源を除去する。
消火を行う者の保護：　燃焼生成ガスに暴露されるおそれがあるときは、陽圧型自給式空気呼吸器（MSHA/NIOSH 認定品もしくは同等品）及び全面形保護衣を着用する。
注　意：　消火排水は公共下水道や河川等に流出させない。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：情報なし
環境に対する注意事項：漏出物および清掃回収品は、公共下水道や河川等に流出させない。
河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。
回収、中和：　漏出物は直ちに吸着物（砂、土等）で吸着させる。
封じ込め及び浄化の方法・機材：　情報なし
二次災害の防止策：　情報なし

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策：　「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気：「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行う。
安全取扱い注意事項：
使用前に取扱説明書を入手する。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。
粉じんを吸入しない。

眼に入れない。
飲み込まない。
環境への放出を避ける。

接触回避：　情報なし

保　管

技術的対策：　情報なし
混触危険物質：　情報なし
保管条件：　容器を密閉して乾燥した場所で保管する。
食物や飼料、飲料水のそばに保管してはならない。
容器包装材料：　情報なし

8.暴露防止および保護措置

管理濃度：　ペノキススラム　未設定

許容濃度：　ペノキススラム　日本産業衛生学会　未設定
ペノキススラム　ACGIH　未設定

設備対策：　この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置する。
空気中の濃度を制御するには、一般適正換気で十分である。

保護具

呼吸器の保護具：　ミストや粉じんの発生箇所では、ろ過式呼吸用保護具を着用する。
手の保護具：　不浸透性手袋
眼の保護具：　保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴　等

衛生対策：　この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：　淡褐色水和性粘稠懸濁液体

比重　1.03（20℃）[1)]　　pH：　5.0 [1)]

オクタノール／水分配係数：　ペノキススラム　Log Pow＝−0.354（19℃）（純水）

10.安定性及び反応性

安定性：　通常の条件下では安定

反応性：　通常の条件下では安定

危険有害反応可能性：　重合は生じない

避けるべき条件：　情報なし

混触危険物質：　強酸、強塩基、強酸化剤

危険有害な分解生成物：情報なし

11.有害性情報

急性毒性*	経口　LD_{50}　（ラット）＞5,000 mg/kg（雌雄）	GHS分類：区分外
	経皮　LD_{50}　（ウサギ）＞5,000 mg/kg（雄雌）	GHS分類：区分外
刺激性*	皮膚刺激性（ウサギ）　刺激性なし	GHS分類：区分外
	眼刺激性（ウサギ）　軽度な刺激性（3日以内に回復）	GHS分類：区分2B
皮膚感作性*	皮膚感作性（モルモット）　陰性（Buehler法）	GHS分類：区分外

（注*ー21.9%SCでの試験である）

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）

区分2（肝臓）に分類されるペノキススラムを10%以上含有していないことから、区分外とした。

12.環境影響情報

水生環境急性有害性*	LC_{50}・96hr（ニジマス）	＞762 mg/L	GHS分類：区分外
	EC_{50}・48hr（オオミジンコ）	＞457 mg/L	GHS分類：区分外
	ErC_{50}・72hr（藻類）	1.07 mg/L	GHS分類：区分2

（注*ー21.9%SCでの試験である）

水生環境慢性有害性　ペノキススラムの生物蓄積性が低いと推定されるものの［BCF＜100、Low Pow＜3 [1)]］、急性毒性が区分2、かつウキクサ（Lemna spp）に対するペノキススラム原体の7日間ErC_{50}値が0.003 mg/L である [2)]ことから、区分2とした。

13.廃棄上の注意

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報　IMOの規定に従う。

UN No.:　3077

Proper Shipping Name：ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N..O..S.

Class：　9

Packing Group：　Ⅲ

Marine Pollutant：　Yes

航空規制情報　ICAO/IATAの規定に従う。

UN No.:　3077

Proper Shipping Name：ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N..O..S.

Class：　9

Packing Group：　Ⅲ

国内規制

陸上規制情報　該当しない

海上規制情報　該当しない

航空規制情報　該当しない

輸送時の安全対策　移送時にイエローカードの保持が必要。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。

15.適用法令

農薬取締法：　登録番号：第22086号

16.その他

参考文献

1） 農薬登録申請資料

2） 自社データ

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取り扱うための参考資料として、当該化学製品を取り扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。

ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。

また、本記載内容は現時点で入手できる一般情報及び自社情報に基づいて作成してありますが、本品（当該製品）に関する全ての情報が網羅されているわけではなく、新しい知見によって改定されることがあります。

さらに、記載の注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。

本品（当該製品）を農薬として使用する場合、製品ラベルに記載されている注意事項に従って使用することで安全を確保することができます。